

古田紹欽 せうきん 佛教學者、文學博士。明治四十四年五月（二十）自岐阜縣生れ（一九二一）。昭和十一年東京帝國大學文學部印度哲學科卒。北海道大學教授。

著書『選擇禪の研究』（鈴木大拙共編、昭和十七年十一月八日山喜房佛書林）、『日本精神と生死觀』（合著、西田長男編、昭和十八年十月（二十五）日有精堂出版部）、『澤庵禪師之研究』（合著、禪學會編、昭和十九年一月（二十）日大東出版社）、『一休』（昭和十九年四月（二十）日雄山閣『禪研叢書』（）、『真堂・無難・正受』（昭和十九年十一月（二十）日弘文堂書房『禪叢書』（）、『禪論』（昭和二十一年二月十五日京都・金尾文淵堂）、『茶一私の見方』（合著、昭和二十八年五月五日春秋社）、『隨筆』、『茶』（合著、昭和二十一年七月十日春秋社）、『典型的日本人』（古川哲史共編、昭和二十四年二月（二十）日誠信書房）、『日本道徳教育史』（合著、昭和二十六年五月五日角川書店『角川全書』（）、『鈴木大拙の人と學問』（編、昭和二十六年六月五日春秋社『鈴木大拙・禪選集』別卷）、『宗教とは何か―仏教の立場から』（昭和二十六年九月十五日社会思想研究会出版部『現代教養文庫』（）、『人間心の宗教はなぜ必要か』（昭和二十九年十一月（二十五）日実業之日本社『実白新書カルチエヤ』（）、『風狂反骨の求道者たち』（昭和六十二年（二月）十日大蔵出版株式会社）、『仏教の日本の上着』（平成五年八月五日京都、思文閣出版）等。

